

説明日（ / ） 説明者氏名（ ） STA240072						
月日（日時）	/	/	/	/	/	/
経過（病日等）	入院	治療1日目	治療2～4日目	治療5日目	治療6日目	退院日
達成目標	◇有害事象について理解できる ◇治療について理解できる	◇副作用のコントロールができる				【退院基準】 ◇骨髄抑制が許容範囲内である ◇経口摂取ができる
注射		10時よりグラニセトン（制吐剤）の点滴があります 10時15分より抗がん剤（24時間投与）の点滴があります ラステット ドキソルピシン オンコピン	9時にグラニセトン（制吐剤）の点滴があります	前日の抗がん剤終了後に グラニセトン（制吐剤）15分間投与します エンドキサン（抗がん剤）を2時間投与します 生食を15分間投与し終了です	9時30分にステロイド（静注）があります 10時よりリツキシマブ（抗がん剤）を約3時間投与します 13時頃に生食を15分間投与し終了です	ジーラスタ皮下注射があります
		【 髄注が午後にあります。時間は当日お知らせします。 】		【髄注が午後にあります。時間は当日お知らせします。 】		
内服		プレドニン（ ）錠 5日間内服します			9時30分に副作用予防のカロナール・ボラミンを内服します 時間になったら看護師がお持ちします	
検査	採血・レントゲン・尿検査があります	必要時採血を行います				
活動・安静度	履物はスリッパではなく靴を使用しましょう。 ナースコール、ベッド柵を設置します。	点滴をしているので気を付けて動いてください。 治療により筋力・体力が低下してきます。転倒予防のためリハビリがはじまります。 吐き気・発熱等の症状がある場合、転倒のリスクが高くなるため気を付けて動いてください。				
食事	常食（制限はありません）できるだけ水分摂取を心がけて下さい。 食事の内容を変更することもできます。その際は看護師へお声掛けください。					
清潔	毎日シャワー浴または清拭を行い、下着は毎日交換してください。手洗いは忘れに行いましょう。					
処置	【治療1日目～治療5日目】 体重測定を朝1回測定します 血糖測定を朝・夕食前に1日2回行います					
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	担当医より入院・治療についての説明があります 看護師より治療についてのオリエンテーションがあります 薬剤師より薬の説明があります	※点滴の刺入部位の赤み・痛み・腫れに気づいたらお知らせ下さい。 ※以下のような症状が出たときはすぐにお知らせ下さい。 吐き気、嘔吐、倦怠感、手足のしびれ、便秘			リツキサン投与時はアレルギー症状が出やすいため 以下の症状がでた時はすぐにお知らせください。 （寒気、息苦しさ、ほてり、かゆみ） 看護師より退院後の生活についてオリエンテーションがあります。 薬剤師より退院処方の説明があります。	

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

久留米大学病院 血液腫瘍内科 東棟14階病棟
2024.7月改訂